

平成 27 年 11 月 6 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 ぱど  
代 表 者 代表取締役社長 渡瀬 ひろみ  
(コード番号 4833)  
問合せ先責任者 専務取締役経営統括本部長 石川 雅夫  
(TEL 03-6694-9810)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり四半 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,900	△80	△80	100	18.22
今回修正予想（B）	3,700	△220	△220	5	0.91
増減額（B－A）	△200	△140	△140	△95	
増減率（%）	△5.1	-	-	△95.0	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 27 年 3 月期第 2 四半期）	3,836	△121	△98	△102	△18.62

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,500	150	150	360	65.58
今回修正予想（B）	8,000	40	30	190	34.61
増減額（B－A）	△500	△110	△110	△170	
増減率（%）	△5.9	△73.3	△80.0	△47.2	
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	7,902	△164	△117	△129	△23.59

平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり四半 期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,500	△80	300	54.65
今回修正予想（B）	3,240	△250	180	32.79
増減額（B－A）	△260	△170	△120	
増減率（%）	△7.4	-	△40	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 27 年 3 月期第 2 四半期）	3,303	△126	△126	△23.01

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,700	100	500	91.08
今回修正予想（B）	7,200	0	350	63.75
増減額（B－A）	△500	△100	△150	
増減率（%）	△6.5	△100.0	△30.0	
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	6,855	△187	△199	△36.29

修正の理由

（個別業績予想）

主にフリーペーパー事業において、タブロイド判発行エリアの拡大と、発行回数増により、売上計画達成に向けた取り組みを行ってまいりましたが、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により、売上高、利益ともに当初計画を下回る結果となりました。

下期の業績動向につきましては、家庭ポスティング型フリーペーパーの判型を 11 月より首都圏全域でタブロイド判に統一することで、制作原価の削減、印刷流通等原価の削減を実現します。また労務費および経費の圧縮を継続することで利益の増加を図ってまいります。

通期の見通しにつきましては、上述の施策実施により収益の拡大を図るとともに、事業ポートフォリオの再構築における選択と集中により収益基盤の強化を推進してまいります。上半期の売上高の影響もあり、当期純利益で 350 百万円を目指します。

（連結業績予想）

第 2 四半期（累計）においては個別業績予想の修正理由により、売上高、営業利益・経常利益・四半期純利益はともに前回予想を下回る見込みとなりました。通期の見通しにつきましては、個別業績予想の修正理由により当期純利益で 190 百万円を目指します。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上